



## 県章

周囲は富士山と武田菱でうるわしい郷土を象徴しており、中の凧は3つの人文字で山梨の山を形どり和と協力を表現しています。  
(昭和41年10月1日告示)



## 県旗

優雅なぶどう色を地に用い、中の凧は県民の和と協力、周りの富士山は清廉、潔白、純粋性を表しています。曲線化した富士山は流動感を表し、県民の無限の向上を願ったものです。  
(昭和41年12月1日告示)



### 県の花【フジザクラ】

4月から5月にかけて、富士の裾野を彩ります。木はあまり大きくなりず、花びらも小型で下向き加減に開きます。きびしい富士の風雪に耐えて、つつましくやかに咲く花は、「和と忍耐」を表しています。  
(昭和29年制定)



### 県の鳥【ウグイス】

春を告げる鳥として、昔からみんなに愛され親しまれています。里にも奥山にも生息し、他の鳥のひなを育てるといふやさしい習慣をもっています。このことから、「明朗と慈愛」を表しています。  
(昭和39年6月制定)



### 県の獣【カモシカ】

日本特産の特別天然記念物に指定されており、本県では、南アルプス、奥秩父、富士山、三ツ峠などの山岳地帯に生息します。高山のきびしい自然に耐えて生きることから「忍耐・努力」を表しています。  
(昭和39年6月制定)



### 県の木【カエデ】

一般的には、葉は緑色で、秋、霜をうけて美しく紅葉します。本県の山などを美しく彩るそのさまは、「山々の男ぶり見よ甲斐の秋(虚子)」などと詠まれています。  
(昭和41年9月制定)



## 【山梨県】県名の由来

山梨、八代、巨摩、都留の4つの郡からなる甲斐の国は、明治4年11月、廃藩置県で「山梨県」となりました。「やまなし」の由来は、くだものヤマナシがたくさんとれたから、山をならして平地にした「山ならし」からきているなどたくさんの説があります。

平成23年3月発行 編集・発行:山梨県広聴広報課  
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1 ☎055-223-1339

山梨県

検索



この印刷物は環境にやさしいVOC(揮発性有機化合物)成分フリーの大豆油を主体とした植物油型インキを使用して印刷しました。

印刷：(株)サンニチ印刷